

## テメキュラ市 訪問記

今年の7月26日から8月6日の日程で、大山町の姉妹都市アメリカのテメキュラ市を中学生7人が訪問しました。交流事業の感想文の一部を紹介します。

中山中 3年

赤川 凜

この研修では、「コミュニケーション」を最も大切にしていきたくて思っていました。事前に練習して行ったとはいえ、アメリカという異国の地に足を踏み入れ、12日間も楽しく過ごすことができたのは、ホストファミリーの存在が大きいです。初めに対面したときは、緊張してなかなか話すことができず、1日目は、ほとんど話さず終わってしま

い、うまく会話ができませんというのとはとても不安になるとともに悔しいことでした。そんな中、2日目に朝起き

「morning」と言ったときは、勇気を出せてとても良かった

です。あのとき言えていなかったら、全く話す事ができずに終わっていたかもしれない。「自分から話しかける勇氣」の大切さというものを改めて実感しました。ホストファミリーには、僕達があきないように工夫をしてくださ

中山中 2年

沼田 有貴

とても短い時間でしたが、今では第2の家族だと思っています。この研修で学んできたものを良い種としてまき、より多くのすばらしい花を咲かせていくためにもっと努力し続けたいです。

振り返ると、あつという間の12日間でした。一日一日が、本当に充実していました。事前研修でたくさん頑張ったプレゼンとスピーチも大成功でした。テメキュラ市は、自然豊かで、みんなが温かい、本

政治や文化などを学び、ホームステイさせていた

このすばらしいテメキュラ市と大山町が姉妹都市であることを、とても誇りに思いました。12日間のこの体験は、本当に私の宝物です。また、この研修では、テメキュラの方々だけでなく、大山町の仲間とも、交流を深めることができたと思います。無事にみんな帰って来ることができ、本当に良かったです。今まで、外国に行くということ

中山中 2年

野間 悠希奈

テメキュラに行つてたくさん経験の積むことができた。テメキュラで過ごした日々は、あつという間でした。

それは、心の温かい人々との楽しい活動や、初めての体験

ばかりだったからです。コミュニティセンターで行ったスピーチ・プレゼンも良かったと思います。これまで研修や学校ですつと練習してきました。友達や先生方にも協力してもらっていたので、絶対成功させようという思いで臨みました。発表の日は

中山中 3年

山田 優生

▶上手に侍を演じています



市役所では、テメキュラ市のいろいろな話が聞けてとても良かったです。まず、市役所の職員数が少ないことに驚きました。テメキュラは、大山町の10倍くらいの人口があるのに、市役所の職員数は、大山町よりも少ないことがわかりました。理由は、いろいろなことをほとんど住民が決